



生物多様性に関するビジネスマッチング 企業と NGO の交流会

2025年12月2日(火) 15:45~18:00

ピッチ: 経団連会館 2階 経団連ホール

交流会: 経団連会館 2階 国際会議場

主催:

経団連自然保護協議会

2030 生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)

企画協力:

ビジネスフォーラム企画委員

(経済同友会、日本商工会議所)

プログラム

(経団連ホール)

15:45~出展企業 15 社・団体ピッチ

16:05~出展NGO 15 団体 ピッチ

(国際会議場)

15:40~開場

16:30~主催者挨拶

経団連自然保護協議会会长 西澤 敬二

16:35~ネットワーキング

17:55~閉会挨拶

環境省 自然環境計画課長 西村 学

出展企業一覧(順不同)

企業名	企業概要
 (株) Nature Define	弊社は生物多様性領域の定量化を実現すべく東京大学森研究室と連携し、リモートセンシング・音響・環境 DNA など多様な自然関連データから機械学習・深層学習を活用し独自の定量評価モデル ND-BioScore を開発しています。TNFD 等の情報開示・自然共生サイトのモニタリング・環境アセスメント等への ND-BioScore 活用を進めています。
 青葉組(株)	青葉組は「未来の森を、いまつくる。」を掲げ森の再生を行う林業ベンチャーです。日本の農林業従事者は明治以来 9 割以上減少。人の介入が減り、自然の劣化が進む今、企業と協働し、森を循環させ自然も企業もうるおう「自然資本産業」をつくります。自社の事業価値創造に繋がる新しい環境貢献の選択肢をご紹介します。
 Zeroboard (株) ゼロボード	株式会社ゼロボードは、データと共に創の力で、ネイチャーポジティブなサプライチェーンへの変革を支援します。 Dataseed SAQ は、サプライチェーン上の自然関連データの効率的な収集にも活用できます。自然資本研究会では、企業・NGO・有識者が協働し、自然との共生を軸とした経営実践を探求しています。
 Sunlit Seedlings サンリット・シードリングス(株)	「生物多様性の科学で持続可能な地球生態系を実現する!」を企業理念とする、京都大学発のスタートアップ企業です。生態学の知見から独自開発した手法「Biosphere Viewer」を用い、生態系・生物多様性の評価を行います。環境・農林水産業・水処理等の様々な分野で分析・コンサルティングサービスの提供、再構築へ向けた提案を行います。

企業名	企業概要
 ミドリク NbS (株)	ミドリク NbS は、独自の Spatial AI 技術により、樹木・植栽・ランドスケープを自動で 3D デジタルツイン化し、設計・管理・環境アセスメントを支援。AI ドローン/ロボティクスによる維持管理の自動化を通じて、持続可能な社会基盤を実装します。
 AC Biode (株)	2つあり、 1)触媒を用いて混合多層廃プラを 200-260°C にてモノマー、水素、一酸化炭素、アルコール等に分解 2)有機廃棄物向けコンテナ型オンサイトメタン発電
 (株) マウンテンビュー	マウンテンビューは、巻き枯らしリング間伐による杉花粉の削減と森林資源の有効活用を推進しています。脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギー・バイオ素材の開発、生物多様性クレジットおよびカーボンクレジットの創出を通じて、循環型社会を支える環境ソリューションを提供する企業です。
 (株) バイオーム	世界規模で機運が高まっているネイチャーポジティブを進めるため、当社は全国から AI を活用して生物データを収集し、国内最大級の生物多様性ビッグデータ・プラットフォームを構築・運用しています。生物多様性の現状を可視化・評価し、企業や自治体の自然資本に対する戦略的かつポジティブなアクションを支援します。
 (株) paramita	人口減少と気候変動の時代に「自然が再生し続ける世界」と「地域経済が持続する未来」の両立をめざす事業体です。個人、企業、自治体、研究者、アーティストなど多様な主体と交わり、生命を中心とした関係性をデザインします。4 つのフィールドで活動し、大企業や都市部の経済循環をネイチャーポジティブな地域を支える構造へとつなげています。
 ヤマナハウス	南房総の里山「ヤマナハウス」から発信！環境省支援の里山未来拠点形成事業で、自然共生サイトを目指す取り組みと 10 年続く民間運営のノウハウ、企業が参加できる環境保全や CSR の可能性を紹介します。
 ハイパー・アグリ株式会社	太陽光で用水を電気分解する「Field Meister」が、水田の酸素循環を促し環境負荷を低減。脱炭素と生物多様性保全を両立し、企業の CSR・ESG 活動と連携して地域循環型社会を共に創る次世代の環境技術です。SDGs 達成と自然資本の回復を目指し、ESG 経営を支援します。
 日本エヌ・ユー・エス(株)	弊社は、主に環境とエネルギー分野の支援を実施している、日揮グループの総合コンサルティングファームです。ネイチャーポジティブについては、TNFD 開示、OECM・自然共生サイトの登録支援のほか、これらのようなネイチャーポジティブに資する活動を用いた地域振興や地域課題の解決を目指しています。
 八千代エンジニアリング株式会社 八千代エンジニアリング(株)	地域の水資源量を見える化する「水の地図」は、気象データと土地利用に基づき、蒸発散量・表面流出量・地下浸透量を算出します。この地図は森林や水田などの水源涵養量も評価できるため、既存の活動評価やネイチャーポジティブに向けた取り組み規模の概算にも活用できます。この技術は、企業の水に関する戦略立案に定量的な指標を提供します。
 (株)ウォンエルフ	LEED・SITES などの国内外の環境認証を基盤に、ネイチャーポジティブフレームワークを構築。企業の事業活動による自然資本へのポジティブインパクトを可視化・定量評価し、生物多様性に配慮したネイチャーポジティブ経営の実践を支援します。
 エスペックミック(株)	生物多様性を回復させるため、緑化植物は「地域性種苗」を提案いたします！当社は自然環境や緑地を創出・回復・維持するために、日本の在来植物を生産している植物材料メーカーです。事業として植物材料生産、生物モニタリングや各認証申請、工事、維持管理、環境保全活動のイベントを行っており生物多様性保全活動を総合的に支援いたします。

参加企業の PR 動画については、環境省 YouTube チャンネルよりご覧いただけます。

以下の URL,QR コードから再生リスト「第4回生物多様性ビジネスマッチング」をご確認ください。

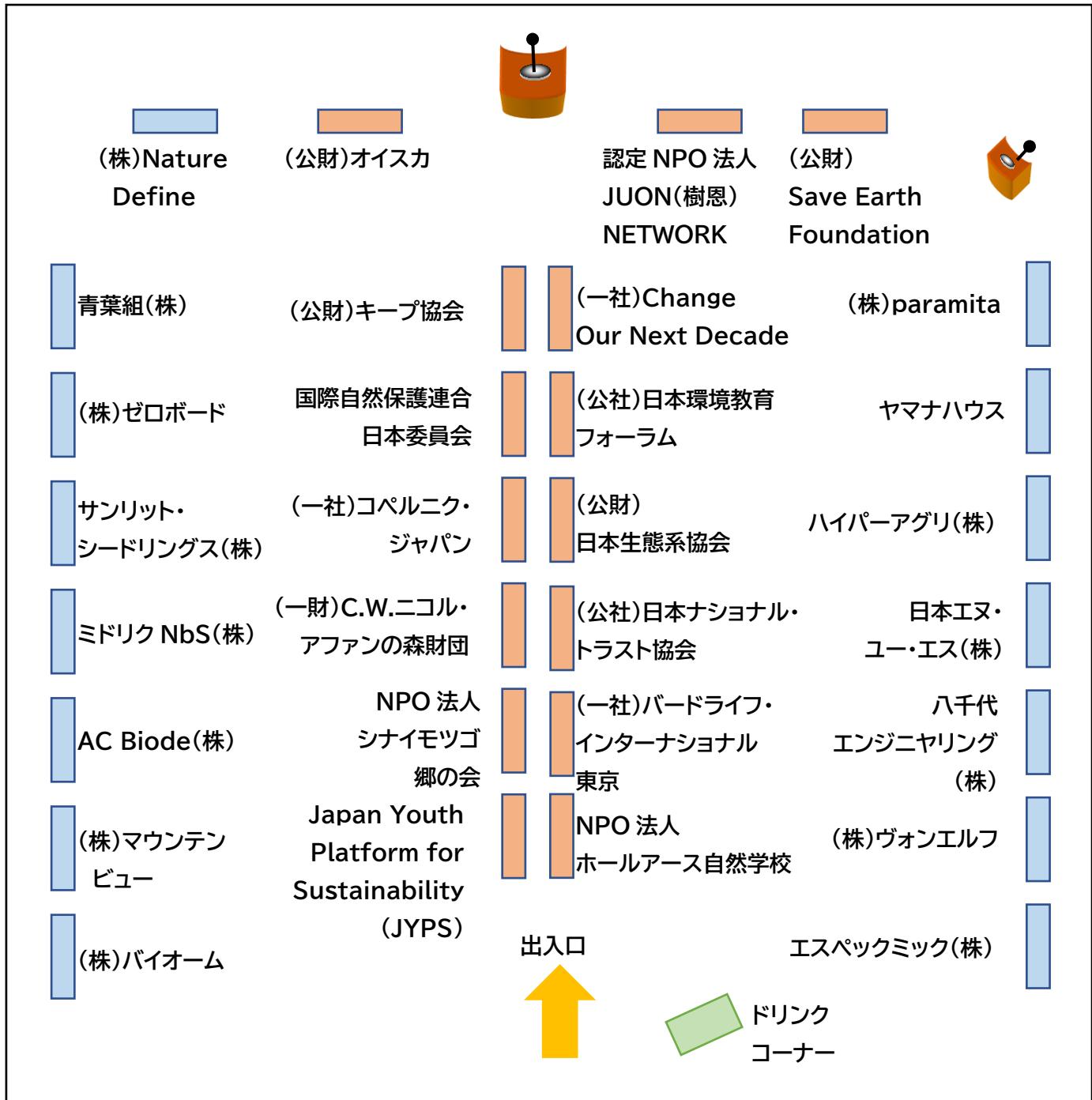
<https://www.youtube.com/playlist?list=PL9Gx55DGS7x4-QChcylyN-1M4SfJ9FWkg>



NGO一覧(五十音順)

団体名	団体紹介
 (公財)オイスカ	アジア太平洋各国で自然に配慮した農業研修を受けた現地青年たちが主体となり、子ども向けの環境教育や森づくりのほか、沙漠緑化やマングローブ植林などの大規模プロジェクトを進めています。
 (公財)キープ協会	「全ての人に森の学びと楽しさを」森という場の力を活かし、児童・青少年・行政・企業人等、環境人材育成に取り組む。有機循環型農業・森のようちえん・宿泊研修施設・地産地消等「教育」を軸に複合型の事業を展開。
 国際自然保護連合日本委員会	国際自然保護連合(IUCN)日本委員会では、2026年7月にグローバルネイチャーポジティブサミットを熊本県で開催します。国内外からリーダーたちが集うこの機会にぜひご参加ください。
 (一社)コペルニク・ジャパン	開発途上国において未だ取り組みの進まない社会・環境課題を特定し、解決策の有効性を検証、そしてより大きな社会的インパクトの創出を目指し、他組織との協働や有効な解決策のスピノオフを行っています。
 (一財)C.W.ニコル・アーファンの森財団	荒れ果てた黒姫の森に手を入れ始めてから約40年、アーファンの森には多くの生きものが戻ってきました。自然再生とともに、心に傷を負った子どもや被災地の子どもたちを招いて心を癒す活動にも取り組んでいます。
 NPO 法人 シナイモツゴ郷の会	シナイモツゴやゼニタナゴなど絶滅危惧種を地域ぐるみで守っています。淡水魚最後の砦一里山ため池で外来種防除技術を開発し実践しています。成果を速やかに発信、全国15万個のため池の活用を呼びかけています。
 Japan Youth Platform for Sustainability (JYPS)	JYPSは、多様な日本の若者の意見を集約し、日本政府や国連機関などの意思決定の場へ届ける若者の若者によるプラットフォームです。生物多様性や自然保護を含め、SDGsに関連する幅広い分野で活動しています。
 認定NPO法人 JUON(樹恩)NETWORK	都市と農山漁村が支え合うネットワークを、森林などをめぐる体験・交流・応援の活動によってひろげ、持続可能な社会を創造することを目的として、1998年大学生の呼びかけにより設立された認定NPO法人です。
 (公財)Save Earth Foundation	美しい地球を子どもたちに残すため、限られる自然資源を有効利用し持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的に資源循環事業と森林再生事業に取り組んでいます。現在87の企業・団体とともに活動しています。
 (一社)Change Our Next Decade	生物多様性の分野に関わる若者を増加させ環境分野を主流化するを目指すユース団体です。普及啓発や国際会議派遣にくわえ、環境教育活動にも力を入れ、今後さらに発展させていきたいと考えています。
 (公社)日本環境教育フォーラム	2011年よりジャカルタ湾岸でのマングローブ林回復に貢献しています。企業寄付金などを活用し、これまでに現地政府と協働で100万本以上の植林を実施しております。ぜひ植林活動への参加をご検討ください。
 (公財)日本生態系協会	自然と共に存した社会づくりを目指し、全国各地の生態系ネットワークの再生、社有地の生物多様性への貢献度を見える化するJHEP認証、ビオトープ管理士資格試験、ビオトープのコンクールなどに取り組んでいます。
 (公社)日本ナショナル・トラスト協会	企業・個人の皆様からのご支援で、鳥がさえずり蝶が舞う豊かな自然や美しい風景を、土地を取得し守っています。各地の団体のセンター的な立場で提案活動を行い、協会自身も全国で60か所の土地を取得しています。
 (一社)バードライフ・インターナショナル東京	バードライフ・インターナショナルは英国(ケンブリッジ)を本部とする国際環境NGOです。世界123の国・地域のパートナーとともに、自然と人がより等しく持続可能な方法で共生できる世界を目指しています。
 NPO 法人ホールアース自然学校	地域のヒト・モノ・情報を紡ぎ価値を創出するローカル・シンクタンクを標榜し、自然共生サイト運営企画～利活用支援、専門家と連携した生物保全や水辺再生、GISを用いた市民調査企画～プログラム運営等を実施。

会場レイアウト



「経団連自然保護協議会 2025 年度シンポジウム・2030 生物多様性枠組実現日本会議(J-GBF)第5回ビジネスフォーラム」

「生物多様性に関するビジネスマッチング・企業と NGO の交流会」に、ご参加いただき、ありがとうございました。

今後の参考にさせていただきたく、以下 QR コードからアンケートの回答に、ご協力お願い申し上げます。



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
「だいだらポジ(DAIDARAPOSIE)」
日本各地で山や湖、川を作ったとして伝承されている巨人「だいだらぼっち」がモチーフで、地球のポジティブな未来を抱きしめて見守り続けるキャラクターとして制作されました。

